

## 第 8 章 現地再委託について

### 8 - 1 現地再委託先候補

#### 8 - 1 - 1 社会経済調査関連

今回の本格調査時において、村落プロフィール調査、詳細な村落調査等の社会経済調査、及びパイロットスタディを実施する予定であるが、調査対象地域における地域住民との円滑なコミュニケーションのために現地語を理解し、かつ現地の事情をある程度把握していることが重要である。したがって、これらの業務を現地再委託することが効率的かつ正確な調査のために有効であると考えられる。

現地再委託先としては現地コンサルタント会社が考えられるが、パイロットスタディを実施の際は、その内容によっては、現地でさまざまな活動を行っている各アソシエーションも有力な連携先となり得る。社会経済調査の現地再委託先候補と考えられる現地コンサルタント会社 3 社及び個人コンサルタント 1 名の面接調査を行った。概要は以下のとおりである。

#### ( 1 ) ITEC

##### 組織の概要

代表者 Mr. Eric K. Tiemtore ( Tel : 212786, 269819; Email: itec\_s@hotmail.com )

1999年に公式に登録された。社員 3 名。社員の一人 Mr. C. Shiaka は環境・水省 DFVAF の職員。

##### 専門分野

環境関連調査、森林整備関係調査( 英語でコミュニケーション可能 )。

##### 活動実績

これまでいくつかの JICA 関連プロジェクト等で日本の民間会社と契約して各種調査業務等を行っている。

・北野建設及び国際航業 : JICA の地方苗畑整備プロジェクト

・農用地整備公団 ( 現在緑資源公団 ) : 公団が行ったプロジェクトのインパクト調査

また、前 JICA 専門家・保久氏 ( 植林 ) の指示のもとで森林管理に関する調査及び解析を行い、森林管理マニュアルを作成している ( 2001 年 )。

#### ( 2 ) BETRAF ( Bureau d'Etudes en Environnement et de Travaux Forestiers )

##### 組織の概要

代表者 Mr. Paul Sybain Pare ( Tel : 370697, Fax: 370697; Email: betraf@liptinfor.bf )

1996 年 1 月設立。社員 3 名。Mr. Pare は個人コンサルタントとして 1989 年頃から業務を

行っている。あとは状況に応じて、大学教授、フリーのコンサルタント等を契約ベースで雇う。クライアントは主に政府関係、NGO、アソシエーションなど。

#### 専門分野

森林整備関連分野、村落開発関連分野、森林インベントリー作成、社会経済調査。

(森林整備関係は今回面談した中では最有力の1社)

#### 活動実績

DFVAFの森林整備プロジェクトや農業省の村落開発プロジェクト等において森林インベントリー作成や社会経済調査に従事している。これまでの主な業務は以下のとおり。

- ・天然林整備プロジェクト(DFVAF)、現在もトレーニングの業務を行っている。
- ・ボルゴ県村落開発プログラムにおいて森林インベントリー作成(農業省)。
- ・ゴンセ保存林区における森林の開発リズムに関する調査。データの社会経済的分析(GTZ)。
- ・シシリー県の保存林区整備地域における社会経済調査(UNDP)。

### (3) CIRED (Cabinet d'Investigation, Recherches et Etudes de Développement)

#### 組織の概要

代表者 Mr. Toe D. Honore (Tel : 212500, 351767 ; Email : toehonod@hotmail.com)

1999年会社登録。社員は秘書を含め3名。代表者 Mr. Toe D. Honore は環境・水省、調査計画局の調査計画課長。

#### 専門分野

環境関連調査、森林整備関係調査、社会経済調査。代表者 Mr. Toe D. Honore は環境アセスメント(EIA)が専門。必要ならば他会社のコンサルタントやフリーランサーを集める。

#### 活動実績

これまでに30ぐらいの調査を行った。フリーランスのコンサルタントとしても10年ぐらいEIAの経験がある。主なものは以下のとおり。

- ・スールー地区の地域開発計画(CONAGESE : 環境管理国家評議会)
- ・村有林整備に関する調査(プラン・インターナショナル=NGO)
- ・ケネドグ県における環境ポテンシャル調査(地方分権化省)

### (4) Pierre K. Sia (個人コンサルタント)

#### 組織の概要

代表者 Mr. Pierre K. Sia (Tel : 204157, Fax : 316485)

1996年からコンサルタントとしての業務を開始。

## 専門分野

社会経済調査が専門の個人コンサルタント（英語でコミュニケーション可能）。

## 活動実績

これまでにUNDPや大統領府、JICA 専門家等の委託で社会経済調査等の業務経験がある。前JICA 専門家・後藤氏（環境教育）の委託業務で環境関連 NGO のインベントリー調査実施（社会経済調査では今回面談した中では最有力の1人）。

なお、自然環境及び社会環境調査の再委託について、国際 NGO の一つである IUCN にも質問したところ、委託可能であるという回答を得た。IUCN スタッフは各プロジェクトの調整業務のみではなく、専門分野について研究者が各地で自分たちの調査研究を行っている。例えばニジェールでヤシの立ち枯れの調査研究や、絶滅したダチョウの再移植に関する調査研究を行った。ただ、どちらかというところ研究色が強いようである。世界銀行の GEPRENAF プロジェクトでは、エコツーリズム可能性調査を IUCN の専門家が行った。また、同じく GEPRENAF プロジェクトでは「BERD」という現地コンサルタント会社に業務を委託している（BERD の電話番号は 303786、FAX は 331251、Email は berd.ing@fasonet.bf である。JOCV 調整員事務所と同じ建物に事務所があるとのこと）。

### 8 - 1 - 2 現地再委託の経費について（社会経済調査関連）

社会経済調査等の費用を概算するために、現地コンサルタント会社から調査費用の見積書入手した。それぞれの見積りから社会経済調査に関係する経費は下記の通りである。

コンサルタント	6 万～7 万 CFA フラン / 日
技術者	1 万～2 万 5,000 CFA フラン / 日
報告書作成	約 50 万 CFA フラン
翻訳（仏語 - 英語）	約 50 万 CFA フラン
諸経費	15 万～50 万 CFA フラン
車輜借り上げ	4 万 5,000 ～ 5 万 5,000 CFA フラン / 日

さらに今回のように、首都ワガドゥグ滞在のコンサルタントが調査地区へ出張し、現地宿泊を伴う場合は、宿泊・日当代として 1 万 5,000 ～ 2 万 5,000 CFA フラン / 日程度加算される。各社の経費見積り概略と社会経済調査の必要経費の試算を下表に示した。

表1 社会経済調査の再委託に係る各社の見積もり概略

項目		ITEC	BETRAF	CIRED	Mr. Pierre	Green Cross		試算	
コンサルタント	CFAフラン/日		60,000	70,000	65,000	60,000	60,000	45日	2,700,000
現地調査宿泊日当	CFAフラン/日	25,000			20,000	25,000	25,000	30日	750,000
調査員	CFAフラン/日		45,000	25,000	20,000	20,000	25,000	30日	3,750,000
現地調査宿泊日当	CFAフラン/日	15,000			5,000				
車両借り上げ	CFAフラン/日	45,000	25,000		45,000	60,000	50,000	30日	1,500,000
レポート作成	CFAフラン		500,000	500,000	100,000	507,500		一式	500,000
翻訳(仏-英)	CFAフラン	600,000		500,000	200,000	1,050,000		一式	500,000
消耗品	CFAフラン		500,000					一式	500,000
Secretariat Work	CFAフラン				150,000	375,000			
小計(CFAfr)			10,750,000	15,490,000	8,035,000	12,780,260			10,200,000
税金(18%)			1,935,000	2,788,200	1,446,300	2,300,447			1,836,000
合計(CFAfr)			12,685,000	18,278,200	9,481,300	15,080,707			12,036,000
合計(円概算)			0	2,537,000	3,655,640	1,896,260	3,016,141		2,407,200

## 社会経済調査：現地再委託のための仕様書（案）

### （１）調査の目的

調査の目的は調査対象地域内の住民の社会経済状況や森林とのかかわり等を把握することで、本格調査で実施予定のパイロットスタディを計画する際の村落選定や事業内容決定のための重要な基礎情報ともなる。

### （２）調査の方法

調査は対象地域の５つの保存林区に近接する約３０の村を対象として、村落プロフィール調査を行う。サンプル世帯数は１か村５～１０、全体で最大２５０～３００サンプル程度とする。まず各村落から村長（あるいは土地長、宗教的なリーダー、学校長、女性グループのリーダー等）の Key Informant を対象とした調査を実施する。次に、各地域について対象世帯をランダムに選択して世帯調査を実施する。調査は、主として調査票によるものとする。調査票はまず調査団側が準備したものをを用いて試験的に調査を行い、その結果をもとに調査票の修正を行ったものを再委託業者が使用する。

### （３）調査の内容

調査項目には社会構造、土地利用、農業、既存天然資源とその管理、住民組織、ジェンダー、意志決定の過程、住民のニーズなどを含む。

#### １）集落レベルの調査

村落の特徴：民族、宗教、人口・世帯数、土地利用の状況、土地の所有形態、村落内の森林の状況、主として使用されている燃料、水道・道路、学校、医療施設等公共インフラの状況等。

主な生産物（農作物、飼育家畜の状況）。

集落での森林の利用状況（利用目的、内容）。

伝統的な共同作業、風習、慣行（意志決定の構造やジェンダー分析を含む）。

既存住民組織の概要。

遊牧民との対立の実態と対策。

#### ２）世帯レベルの調査

住民基礎調査：民族、宗教、家族構成、性別、年齢、学歴、職業、副業等。

経済調査：生産（主な生産物、家畜含む、生産コスト、収量）及び生計（衣食住、教

育、医療、社会関係に要する費用とその捻出方法)に関する調査。

農地の所有状況と放牧地の状況(林内放牧を含む。)

年間農作業のスケジュール。

森林の利用状況(何を、いつ、どのくらい、誰が、何のために採取・利用しているか?)。

家族の役割分担や女性の役割(ジェンダー)調査。

生活状況調査:例えば、生活用水の水源、水源までの距離、水確保の役割を担う家族構成員、家庭用薪炭材の採取場所、自己消費のために購入する(森林資源、作付け作物以外の)食料品の品目と入手先、基本的社会サービスの程度、年齢階層別主な病気への罹患経緯、対応処置(診療所へのアクセス)、学齢児童への初等教育の程度。

#### (4) 調査に必要な人員

プロジェクトマネージャー(1名):調査票の修正、村落全体の概況調査、各世帯に対する詳細調査、結果の解析及び報告書作成等、調査全体を統括する。

調査員(6名~8名):調査票を用いた現地における聞き取り調査、調査票の回収及び分析をプロジェクトマネージャーの指示に従って実施する。

#### (5) 調査の期間

現地での聞き取り調査に3週間程度、結果の集計・解析及び報告書作成に1週間程度を予定する。

### 8 - 1 - 3 主題図関連

主題図関連分野での業務は、本格調査団の短い調査期間に効率的に調査を行う場合、現地事情に精通したローカルコンサルタントへの業務再委託が有効である。本調査における、主題図関連での現地再委託可能業務としては、下記の業務が想定される。

土地利用図の作成

保存林区の境界の画定及び標柱・標識の設置

についてはおそらくディダ、コングコ、グアンドゥグの3つの保存林区のみが対象となる予定であり、についてはディダ保存林区のみが対象となる。また、の土地利用図作成では、コングコ及びグアンドゥグ保存林区の作業については、すでに先方政府が作業を進めており、それらの既存のデータから必要なデータの提出を求める必要がある。

これらの業務を行う、環境・林業系のコンサルタントはいくつか存在しており、ブルキナ・ファ

ソで行われている多くのドナープロジェクトでもローカルコンサルタントが利用されている。デジタイザーやGPS、パソコン、測高器等調査に必要な機材はローカルコンサルタントが既に所有しないし、レンタル等で対応可能のようである。

また、これらの業務はEU地図プロジェクトの人材、資機材を用いて遂行可能であるが、カウンターパート機関そのものであるため再委託先としては無理がある。技術面からは十分に業務を行える能力を持っているので、本来業務としてこれらの業務を行ってもらうことが最適であろうが、活動経費のない同プロジェクトの現状からして、それは困難であると予想される。

#### 8 - 1 - 4 現地再委託の経費について（主題図関連）

主題図作成関連の費用を概算するために現地コンサルタント会社から費用の見積もりを入手した。それぞれの見積もりから主題図作成に関する主な経費は下記のとおりである。

##### 土地利用図の作成

コンサルタント( 専門家 )	5 万 CFA フラン / 人・日
技術者	1 万 5,000CFA フラン / 人・日
写真判読作業	2 万 3,000CFA フラン / 枚
デジタル化作業	500 万 CFA フラン

車輛借上費	3 万 5,000CFA フラン / 日
	200CFA フラン / km ( 車輛を自前で持つコンサルタント )

トラック借上費	10 万 CFA フラン / 日
---------	------------------

##### 保存林区境界の画定、標柱設置 + 境界を示す標識の設置

コンサルタント( 専門家 )	5 万 CFA フラン / 人・日
技術者	1 万 5,000CFA フラン / 人・日
作業員	3,000CFA フラン / 人・日
標柱作成	3 万 ~ 4 万 CFA フラン / 個
標識作成	10 万 CFA フラン / 個

また、今回、参考にした現地コンサルタント会社の名称、連絡先を下記に示すが、これら以外にも環境・林業系のコンサルタント会社はいくつか存在している。

- ・ CEEF/Burkina Faso ( Cabinet d'etude en Environnement et en Foresterie )

( 及び について )

15 Rue 156

10 BP 13577 Ouagadougou 10

Tel (+226) 38 43 25 / 23 97 89

E-mail : ceefburkina@fasonet.bf

(ワガドゥグ以外にも Dori と Gaoua に事務所あり)

・ BETRAF ( Bureau d'Etude et de Recherche pour le Développement )

( について )

Rue 29. 205

06 BP 9651 Ouagadougou 06

Tel/Fax (+226) 37 06 97 / 25 59 00

E-mail : betraf@liptinfor.br

・ ED.PA

( 及び について )

06 BP 10222 Ouagadougou 06

Tel/Fax (+226) 37 05 82 / 25 12 59

E-mail : edpa@liptinfor.br